

💡 むずかしいけれど、とても大切なこと。臨床現場での取り組みから考えてみよう

2021年9月1日発行(毎月1回1日発行) 第18巻9号(通巻237号) ISSN 1348-9968

The Japanese Journal of Diabetic Caring

# 糖尿病ケア

2021 September  
Vol.18 No.9

# 9

患者とパートナーシップをむすぶ! 糖尿病スタッフ応援専門誌

どう考える?

特集

## 糖尿病患者の エンドオブ ライフケア



糖尿病患者・家族・介護者に  
最期まで寄り添う

### 連載

血糖上昇をおさえる 食事がたのしくなる  
糖尿病患者のためのおいしい発酵レシピ



チーズ〜その②〜

糖尿病患者のサルコペニア・フレイル対策  
「リハ栄養」の視点で患者指導が変わる!

糖尿病スタッフがリハビリテーション栄養でできること

MC メディカ出版

## 医療法人社団よこた内科クリニック

**所在地** 〒673-0891 兵庫県明石市大明石町 1-6-1  
パピオスあかし 3F

**設立年度** 2017年1月 **院長名** 横田一樹

**スタッフ数** 医師…5名(非常勤3名)、看護師…4名  
(CDEJ 2名、CDEL [兵庫] 2名)、管理栄養士…1名(CDEJ  
1名)、臨床検査技師…2名(CDEJ 1名、CDEL [兵庫] 1名)



### 勉強会・研修会の実施状況

現在はコロナ禍のため一時休止していますが、年に4回程度糖尿病教室を行っています。また、院長は頻繁に講演会で講演を行っており、医療スタッフが参加できる講演会には、当院スタッフも積極的に参加しています。

受付・医療事務も含めたすべてのスタッフがつねに明るく誠実に対応しています。コロナ禍でつねにマスクを着けた状態ではありますが、マスクの下は笑顔になるよう心がけています。

### 楽しく血糖コントロール改善! 兵庫県立明石公園

クリニックのすぐ北側には明石城跡を整備した明石公園があります。園内には城跡のほかにも、芝生広場や剛ノ池といった憩いの場が広がっており、多くの患者の散歩コースになっています。

明石公園サービスセンターで配布されている「幸せスポット巡りコース」のマップを見ながら、園内を散歩することもできます。



いきいき

ポイント 治療中断を防ぐために最大限の努力を

当院では、糖尿病治療においてもっともやってはいけないこととして、「治療を中断してしまうこと」をスタッフ全員の共通認識としています。

まず初診時には「first impression が大事」というコンセプトのもと、スタッフはとにかく時間をかけて問診をとるようにしています。はじめて来院した患者は「ここはどういうクリニックなのか」「どういう先生やスタッフがいるのか」など、本来の目的である糖尿病治療以外にも不安要素がいっぱいです。しかしそれは、医師やスタッフ側から患者を見た場合も同じです。「この患者は

どういう人柄なのか」「何に困って来院したのか」など、わからないことでいっぱいです。そのなかで「医療者側」と「患者側」が信頼関係を築いていくのは、並大抵のことではないと考えています。そのため初診時にはしっかり時間をかけて、まず患者の「安心」を得ることに努めています。

再診以降は『糖尿病連携手帳』を有効活用しています。糖尿病治療の目標や合併症の説明を十分に行ってから患者に渡し、「何となく HbA1c だけを書いていただくだけの手帳」にならないように努めています。それでも万が一、治療が途切れてしまった患者には手紙を郵送し、「当院でなくてもよいのでとにかく治療を続けること」を促しています。

ほかにも、院内に通院中の患者の HbA1c のグラフを掲示したり、糖尿病教室を行ったりと、糖尿病治療の中断を防ぐためにスタッフ全員が最大限の努力をしています。



院内にはクリニック通信や毎月の治療実績を掲示している。

いきいき

目標 すべての人が通いやすいクリニックを目指して

開設時からの目標は「とにかく患者が通いやすいクリニック」です。それはこれからも変わることはありません。患者満足度 (patient satisfaction : PS) を上げて通いやすいクリニックをつくるためには、従業員満足度 (employee satisfaction : ES) も上げることが必要だと考えています。今後は患者だけでなく、院長やスタッフも含めたクリニックに来るすべての人が「通いやすいクリニック」にしていきたいと思います。

いきいき

No.1 パワフル No.1

臨床検査技師の角恵美さんは当院開設時からのスタッフで、もともと CDEJ の資格をもっていましたが、当院で働きだしてからもフットケアや認知症ケアの資格を新たに取得したりと、非常に勉強熱心です。

プライベートでは家庭菜園のレベルを超えた農作業もしており、とてもおいしい季節の野菜をスタッフみんなにお裾分けしてくれます。



角さんの畑でとれた季節の野菜。